

## 2008 お買い物で国際協力

東洋大学国際地域学科

推薦者

岡田 有紗さん(2年)

### 手漉き紙の ポストカード

このポストカードは、フィリピンのミンダナオ島に自生するコゴン草、マニラ麻、サラゴを漉いて作られています。夏の自然のひとつを、

てSHAPIIをスタート。島の雑草コゴン草を使った紙作りを始めたそうです。資源の少ない村で、田畑の栄養を奪い、山火事の原因にもなる「雑草」から仕事が生まれるというところで、地域の人も強い関心を持ちました。当初7人で始まった事業は、努力が実って380人以上もの人々が働く大きな産業に成長。教育や環境問題にも取り組んでいます。

委託という形で販売しています。売り上げの一部を、学費が払えず勉強が続けられないミンダナオ島の子供たちへの奨学金に回す制度です。教育の必要性は大きなテーマですが、学費が用意できず途中で進学を断念せざるを得ない子供たちが大勢いるのが現状です。このポストカード1セットにつき100円がミンダナオ島の子供たちの奨学金になります。

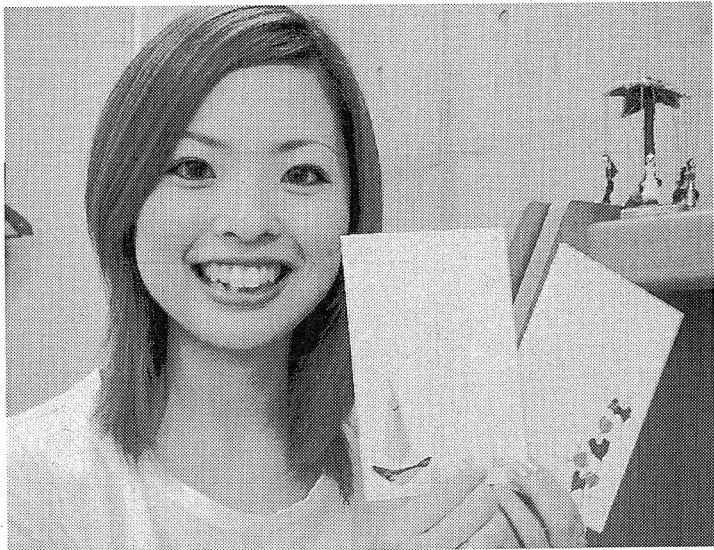
▼東洋大生によるフェアトレード商品販売「お買い物で国際協力」は、24日まで館林つつじの里ショッピングセンターいこいの広場で行われている(午前10時から午後9時)。

優しい風合いの草花で飾る

## 残暑見舞いにぴったり

優しい風合いの草花で飾ってあります。一枚一枚手で漉いた紙に、丁寧な押し花のデザインを施したカードは、季節の挨拶や残暑見舞いにぴったりです。

この製品を作っているのは、およそ20年前に設立されたSHAPII(シャピイ)という団体です。当時、ミンダナオ島は内戦の最前線にあり、産業の発展は望めない状況でした。多くの若者は、職を求めて島を離れていきました。代表のロレッタさんは「お金を得るために家族が離れ離れにならないよう。そして若い人が夢を持てる町を」という深い愛情と強い意志を持つ



フィリピンの手漉き紙を紹介する岡田さん(入荷する商品とは、デザインが異なります)